

## 会 報

### ○『宗教研究』編集委員会

日 時 二〇〇七年六月二三日(土)一二時三〇分～一五時

場 所 東京大学 法文二号館多分野交流室

出席者 浅見洋、白川琢磨、杉村靖彦、長谷部八朗、保坂俊  
司、細田あや子、丸井浩、山中弘(長)、渡辺雅子

#### 議 事

- ・二〇〇八年度の特集号のテーマを「宗教批判の諸相」に決定した。

- ・特集号には、英文の編集意図も掲載する。

- ・三五四号(一二月刊行予定)以降の書評本および評者候補を選定した。

- ・原稿執筆要項に、「人名には、敬語、敬称は用いないこととする」を追加する。

- ・科学研究費補助金について、三月の委員会以降の状況が山中委員長より報告された。競争入札の件は庶務委員会でも引き続き検討する。

- ・二〇〇九年度の特集号は、宗教教育や倫理を取り上げる方向で検討していく。

### ○学会賞選考委員会

日 時 二〇〇七年七月七日(土)一三時～一四時三〇分

場 所 立正大学 一一号館第五会議室A

出席者 嶋田義仁、関一敏、津城寛文、中村生雄、深澤英隆、松村一男、三友健容

#### 議 事

一、委員長選出

互選により嶋田義仁氏を委員長に選出した。

二、審査について

候補作品について審議し、分担ならびに審査方法、日程等を決定した。

### ○庶務委員会

日 時 二〇〇七年七月七日(土)一三時～一五時

場 所 立正大学 一一号館一七A教室

出席者 池上良正、岩田文昭、櫻井治男(長)、ポール・スワ  
ンソン、関一敏、鶴岡賀雄、林淳、藤田正勝、山中  
弘、(オブザーバー) 星野英紀

#### 議 事

一、学術大会プログラムに記す所属について

大学名の略称中、立大は立教大とする(会員名簿も同様)。

その他は従来通りの略称を用いる。次年度以降、大会参加申込書の「所属」欄を「現在の所属」に変更する。名誉教授は現在の所属に含むこと、会員名簿はプログラムと異なり、本人から記載希望があれば、現職や大学・大学附属の研究機関等に限定せずに記載することを確認した。

二、紹介者がいない入会希望者について

理事会で推薦人となる方を尋ねるが、いなかった場合の対応

## 報 告

策は継続審議となった。

### 三、学会公認プロジェクト制度について

研究プロジェクトが立てやすい学会と比べ、本学会は領域が広く、またプロジェクトになじまない領域もあるので、当面プロジェクト制度は設けないことを理事会に報告する。

### 四、二〇〇六年度の決算報告、二〇〇七年度の予算案

内容の確認を行った。九月の会員総会で諮られるよう準備する。

### 五、『宗教研究』科学研究費補助金について

当面公的資金の獲得を目指し、競争入札を行う方向で進めていく。

## ○情報化委員会

日時 二〇〇七年七月七日(土) 一三時三〇分～一五時

場所 立正大学 一 一 号館 二 一 四 A 教室

出席者 石井研士、小川順敬、中野毅(長)、弓山達也

## 議 事

### 一、今年度の委員会の予算案について

ホームページの運営費および同コンテンツを拡充する方向で審議の結果、八〇万円の予算額を決定した。

### 二、HPデザインの一部改訂について

#### ・HPのカテゴリについて

現行のHP内「会員ページ」の名称や配置されているコンテンツの扱いの変更について提案があり、HP運営作業部会を含めたメーリングリスト上での継続審議が確認された。

#### ・アクセス解析ツールについて

HP運営担当者が開発したものに変更する。

### 三、メーリングリストの改訂について

上記に関連して、現行の情報化委員会とHP作業部会に二分されているメーリングリストのメンバー乗り入れをはかり、HPの内容やデザインの改訂・追加に迅速に対応していく。

#### ・情報化委員会MLー引き続き、情報化委員に限定

・HP運営作業部会MLー運営担当者に情報化委員全員を追加

### 四、HPの内容充実について

今年度のリニューアル案として、以下の三点が確認された。

・『宗教研究』掲載の欧文要旨を最新号から三二三号(三二二号までは入力済み)まで遡り掲載する。そのために紙媒体の欧文要旨のデジタル化を行う。

・科研費報告書のアップを行う。会員総会などで過去三年以内の科研費報告書のデジタルデータの提供を要請。集まり具合を見て、紙媒体や過去の報告書、科研費以外の報告書に、内容を拡大する。

・学術大会のテーマセッションの継続議論を、掲示板などを用いてHP内で行う。

## ○国際委員会

日時 二〇〇七年七月七日(土) 一三時三〇分～一五時

場所 立正大学 一 一 号館 二 一 七 B 教室

出席者 池澤優(長)、嶋田義仁、月本昭男、深澤英隆、渡辺

学

## 議 事

## 一、IAHRの理事会について

ヨーロッパ宗教学会にあわせて、九月二〇～二二日に、トルコのアンカラで開催される。

## 二、Religion Compassとの協力について

AAR/SBLで企画されたオンライン・ジャーナル *Religion Compass* の編集委員会から協力の依頼があった。このジャーナルは各国の宗教研究の現状に関する情報を主に非専門家向けに提供することを目的とするが、日本宗教の分野で掲載論文のトピックならびに可能な執筆者について提案を行うことが、要請の内容である。審議した結果、既に同委員会のメンバーになっている川橋委員から日本宗教研究者に協力を依頼することになった。

三、東アジアの宗教研究者による国際シンポジウムについて  
前回・前々回から引き続き、国際交流促進のための国際シンポジウム開催の計画を議論したが、継続審議となった。但し、国内の諸機関が既に行っている海外交流の情報を収集する計画については、情報提供を呼びかける文章をホームページに掲載することになった。

## ○宗教文化士（仮称）検討委員会

日 時 二〇〇七年七月七日（土）一三時三〇分～一五時

場 所 立正大学 一号館一四D教室

出席者 井上順孝（長）、大村英昭、澤井義次、塩尻和子、田

中雅一、土屋博、藤原聖子

## 議 事

## 一、趣旨文の検討

本資格を知識・文化面に限定するか、哲学・倫理面も加えるかは意見が分かれたが、「資格の目的は明確化し、協力を仰ぐ先は広げる」という点では合意が得られた。

## 二、設立協力学会の選定

設立の母体となる学会は三〇四に絞る。設置については宗教関係の諸学会にあらかじめ伝える。

## 三、資格認定全体のシステムの検討

認定業務のための機関（事務局）をどこに置くか、また事務局には本資格専属の事務員を一名雇用する必要があるとの意見が出され、大村委員より社会調査士の運営・資金面の説明がなされた。なお、本資格のニーズを調査し、標準カリキュラムを作成することを目的に、今秋、科研を申請する。

## 四、資格の名称について

「教育」の語をとり、「宗教文化士」とする。

## 五、資格の数について

より専門的な資格を設け、二段階にするか今後検討する。

## 六、パイロット校の選定

私大を中心とするが、国立大も加える。

## 七、テキスト作成について

推薦図書だけでなくテキストを作成する方が親切であるとの提案が出された。

## ○理事会

日時 二〇〇七年七月七日(土) 一五時～一七時分

場所 立正大学 一―号館第五会議室B

出席者 芦名定道、池上良正、池澤優、石井研士、井上順

孝、大貫隆、大村英昭、加藤智見、櫻井治男、澤井

義次、塩尻和子、島蘭進、嶋田義仁、末木文美士、

鈴木正崇、ポール・スワンソン、関一敏、高橋渉、

田中雅一、月本昭男、津城寛文、土屋博、鶴岡賀

雄、中野毅、中村生雄、西山茂、林淳、深澤英隆、

藤田正勝、星野英紀、間瀬啓允、松丸壽雄、松村一

男、三友健容、山中弘、渡辺学、(立正大学) 安中

尚史

## 議 事

## 一、第六六回学術大会プログラムの承認

参加申込状況等について説明がなされた。続いて、大会実行委員会が準備したプログラム原案を検討し、二六〇名の個人発表、九つのパネル発表を承認した。

## 二、諸委員会からの報告と提案

## (1) 宗教文化士(仮称)検討委員会

趣旨案が報告された。名称から「教育」を外し、「宗教文化士」に変更することが承認された。九月の学術大会で行う委員会パネルで広く周知し、問題点を明らかにしたい。他学会と連携して準備を進め、来年度はパイロット校を選び、カリキュラム改定時に考慮していただき、一般の実施より一年早めに着手する予定である。

## (2) 庶務委員会

・当面、学会公認プロジェクトは設けないこととした。

・『宗教研究』の科研費補助金については競争入札を行う方向で対応していきたい。

## (3) 国際委員会

・来年、ソウルで開催される国際哲学会のセカンドサーキュラーがまもなく届く予定である。

・IAHRの理事会が、ヨーロッパ宗教学会の開催に合わせて本年九月に、トルコのアンカラで開かれる。

・アメリカのBlackwell社から、主に非専門者向けに各国の宗教研究の現状を報告するオンラインジャーナル *Religious Compass* が発刊されるに際して、編集チームより *Review Article* のテーマと執筆者について助言を行って欲しいとの協力要請があった。関心をお持ちの方は、ご連絡下さい。

## (4) 情報化委員会

昨年九月のHP全面リニューアル以降、毎月一五〇〇～三〇〇〇件のアクセスがある。今後は次の三点を中心にHPの充実を図っていきたい。英文ページの充実(『宗教研究』の欧文要旨の掲載)、電子化された会員の科研費報告書の掲載、学術大会後も継続してHP内でパネル発表の議論を行う。

## (5) 編集委員会

二〇〇八年度の特集号のテーマを「宗教批判の諸相」に決定した。二〇〇九年度の特集号のテーマとして、宗教教育あるいは宗教倫理といった案が出ており、検討中である。

# (6) 学会賞選考委員会

候補作品を審議し、分担、審査方法等を決定した。

## 三、新入会員について

別記二名の入会が承認された。

## 四、日本学術会議史学員会所属 ICANAS 小委員会より、第三九回 ICANAS (国際アジア・北アフリカ研究会) を日本に招致しないことを決定した旨の報告が届いた。

## 五、二〇〇八年度の学術大会について

星野会長より、筑波大学で開催されることが報告された。

## ○日本宗教研究諸学会連合設立準備委員会

日時 二〇〇七年七月七日(土)一七時三〇分～一九時

場所 立正大学 一ノ号館第五会議室 A

出席者 芦名定道、石井研士、島蘭進、砂山稔、高橋孝信、

月本昭男、土屋博、中尾良信、中村生雄、原島正、

藤田正勝、星野英紀、宮家準、山中弘

## 議事

日本学術会議第一九期宗教学研究連絡委員長で、現在の二〇期の連携会員である宮家氏より今までの経緯が説明され、諸学会連合の活動内容等について議論した。旧宗教学研究連絡委員会構成学会の代表者、本学会の現日本学術会議会員、連携会員の方々に発起人になっていただき、宗教学関連の日本学術会議協力学術研究団体に諸学会連合の趣旨を説明し、参加を呼びかける会を本年一二月に開催することを決めた。

## ○選挙管理委員会

日時 二〇〇七年八月二日(木)一三時～一四時五〇分

場所 大正大学 一ノ号館会議室二

出席者 佐藤憲昭、田島照久(長)、中村廣治郎、星野英紀

## 議事

### 一、評議員選考委員選挙開票

開票結果

### ・理事互選分

有権者総数 九五

投票者総数 四五

有効投票数 一三五 無効投票数 〇

有効投票数の内訳

島蘭進 9 票、鶴岡賀雄 7 票、井上順孝 6 票(以下、略)

この結果、島蘭、鶴岡、井上の三氏が理事互選分による選考委員に選出された。

### ・一般投票分

有権者総数 一八一七

投票者総数 三〇二

有効投票数 六〇三(内、白票一〇) 無効投票数 一

有効投票数の内訳

島蘭進 32 票、山中弘 14 票、鈴木岩弓 12 票、佐藤憲昭 11 票、

池上良正・氣多雅子・鷺見定信 9 票、末木文美士 8 票、浅

井成海・蘭田坦・月本昭男・鶴岡賀雄 7 票(以下、略)

この結果、理事互選で選ばれた方を除いて、山中、鈴木、佐藤、池上、氣多、鷺見、末木、浅井、蘭田、月本の一〇氏が

一般投票により選出された。

・理事互選による当選者三名、一般投票による当選者一〇名、計一三名の評議員選考委員は以下の通りである。(五十音順、敬称略)

浅井成海、池上良正、井上順孝、氣多雅子、佐藤憲昭、島蘭進、末木文美士、鈴木岩弓、菌田坦、月本昭男、鶴岡賀雄、山中弘、鷺見定信

### ○評議員選考委員会

日時 二〇〇七年八月二四日(金)一三時～一四時

場所 大正大学 一号館会議室二

出席者 池上良正、井上順孝、佐藤憲昭、星野英紀、山中弘、鷺見定信

書面参加 浅井成海、氣多雅子、島蘭進、末木文美士、鈴木岩弓、鶴岡賀雄

### 議 事

新評議員の選考(第一回)を行った。委員会の権限外の問題ではあるが、新評議員が互選すべき理事の人選とも関連するので、常務理事、理事、監事の件もあわせて考慮の上、評議員名簿(一次案)を作成した。前回同様、新評議員は四〇歳以上・六〇歳未満・会員歴五年以上、新理事は二〇〇八年三月末で七〇歳未満という原則に基づき人選を行った。